

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	ひかり味噌飯島グリーン工場株式会社					
代表者名	氏名	林 善博	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県上伊那郡飯島町田切1145-8					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	味噌、調味味噌、即席味噌汁、甘酒、スープの開発及び製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	4,147	4,023	4,310	4,443	4,988
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	7,801	7,566	8,109	8,344	9,377
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	4		4	4	4
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	14				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

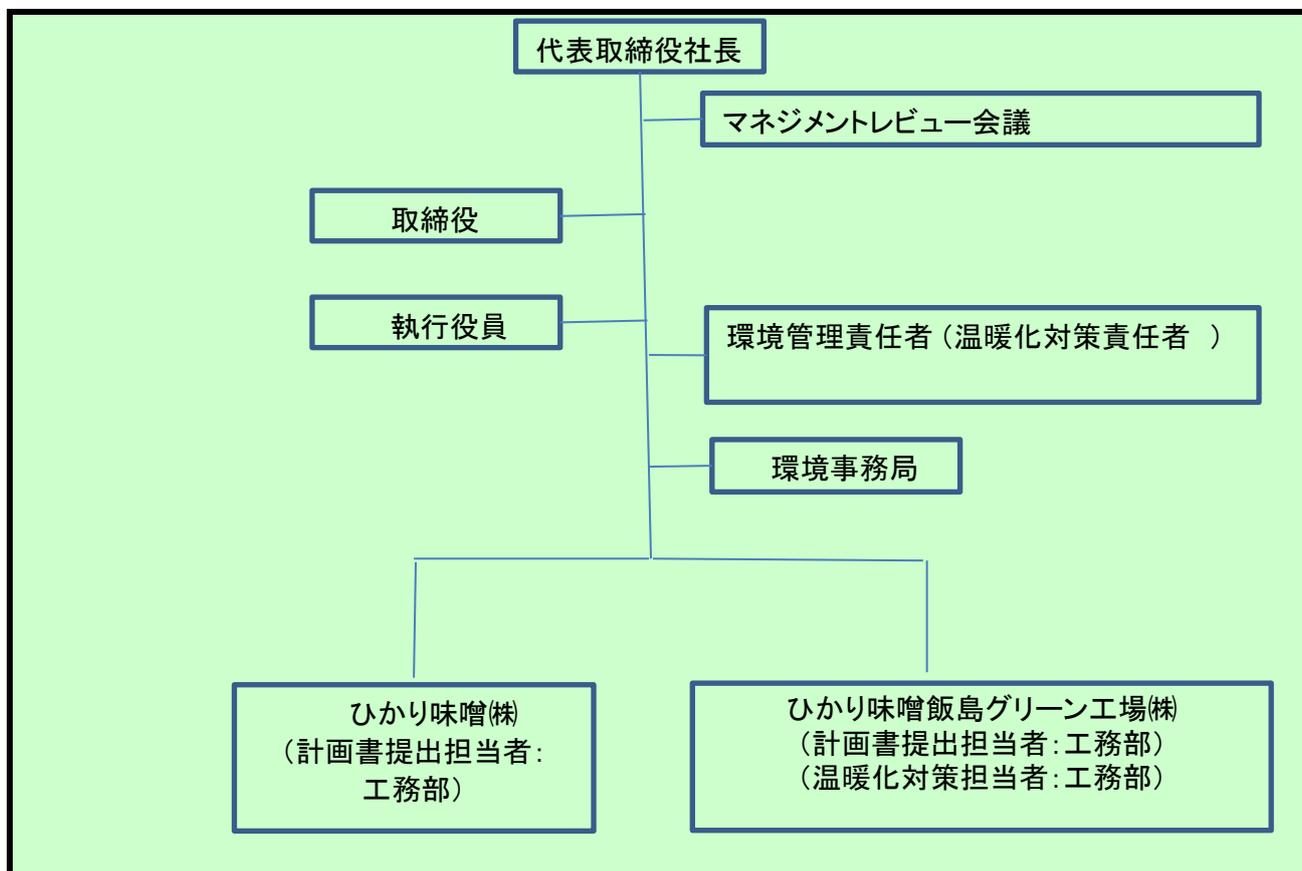
<input type="checkbox"/>	ホームページ	場所：ひかり味噌飯島グリーン工場(株) 時間：8：30～17：15 担当部署：工務部（0265-86-2678）
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境マネジメントシステムを効率的に運用し、制定した環境目標に向けて、環境管理責任者、エネルギー管理統括者、エネルギー管理企画推進者、エネルギー管理士、省エネ委員会が一丸となり、二酸化炭素排出量削減に努力する。
また、環境負荷の少ない製品づくりを基本方針とする。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

マネジメントレビュー会議： 年1回

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	7,801	t-CO ₂	生産量	50.27	単位	千トン
2019年度	調整後排出量	7,801	t-CO ₂	基準原単位	155.18	t-CO ₂ /	千トン
目標年度	目標排出量	7,566	t-CO ₂	目標原単位	150.52	t-CO ₂ /	千トン
2022年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	目標年度の原単位を基準年度に対し、3%減を目標とする。基準年度に遡り排出量と生産量を訂正しました。						
第一年度	排出量	8,109	t-CO ₂	生産量	49.66	単位	千トン
	削減率	-3.95	%	原単位	163.29	t-CO ₂ /	千トン
2020年度	調整後排出量	8,109	t-CO ₂	原単位削減率	-5.23	%	
	削減率	-3.95	%				
排出量等の増減理由	CO2排出量1%削減目標に対して約4%増の結果となりました。生味噌製造工場の稼働が増加したことによる、電力使用量5.2%増、LNG使用量8.5%増が主な要因です。比較的長い時間ボイルした大豆を使用する有機素材、国産素材の味噌の生産が増えたことによる蒸気エネルギーの使用増、大豆原料の加工装置の稼働増により、電力、LNGの使用エネルギーが増加しました。						
第二年度	排出量	8,344	t-CO ₂	生産量	50.60	単位	千トン
	削減率	-6.97	%	原単位	164.90	t-CO ₂ /	千トン
2021年度	調整後排出量	8,344	t-CO ₂	原単位削減率	-6.27	%	
	削減率	-6.97	%				
排出量等の増減理由	CO2排出量1%削減目標に対して約7%増の結果となりました。使用エネルギーは、前年対比で電力3.99%増、LNG2.82%増、LPG5.17%減の結果となりました。電力の増加の主な要因として、新設工場の試運転（2022年1月）及び併せて増設した水浄化施設の試運転（2か月間）、に消費したこと、輸入大豆の海上輸送が滞ったために合計で10日間非効率な生産を強いられたことです。LNG増加の主な要因は、新設工場の稼働前の試験生産及び機器調整を行ったこと、併せて増設した水浄化施設で、本稼働前に菌体活性のための加温（2021年12月～2021年1月）を行ったこと。また通常生産においてもコロナ禍における少量多品種生産の切り替えが増加致しました。						
第三年度	排出量	9,377	t-CO ₂	生産量	54.73	単位	千トン
	削減率	-20.21	t-CO ₂	原単位	171.33	t-CO ₂ /	千トン
2022年度	調整後排出量	8,983	t-CO ₂	原単位削減率	-10.41	%	
	削減率	-15.16	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	CO2排出量1%削減目標に対して約15%増の結果となりました。使用エネルギーは、前年対比で電力3.95%増、LNG12.88%増、LPG12.71%増。稼働を開始した新設備および新熟成庫において、4月よりCO2フリーの「信州Greenでんき」を運用。新熟成庫では従来倉庫に比べて断熱性に優れた外壁材を採用、また、高効率ボイラーを導入する等、CO2排出量を削減するための取り組みを推進しました。（信州Greenでんき運用によるCO2抑制量394t-CO2/年）使用エネルギー増加については、これら新設備の試運転調整及び生産稼働などが要因となります。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	14	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330204	冷凍機の更新 (効率向上)	2021	100	2020～ 2021	100
2	エネ起	360799	コンプレッサーの更新 (効率向上)	2021	100	2020～ 2021	100
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
メタンガス発電機	KW	120	0	120	120	120
メタンガスボイラー	kg/h	1100	0	1100	1100	1100

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	7,801	1	8,109	1	8,344	1	9,377
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	7,801	1	8,109	1	8,344	1	9,377

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	4	4	4	4
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	なし
自転車利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	長距離輸送に鉄道コンテナ、船舶輸送を利用している。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2019
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		1998
	名称	ISO14001	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

なし